

2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年8月7日

上場会社名 東部ネットワーク株式会社

上場取引所 東

コード番号 9036 URL <https://www.tohbu.co.jp>

代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 若山 良孝

問合せ先責任者(役職名) 代表取締役専務兼専務執行役員 (氏名) 三澤 秀幸 (TEL) 045-461-1651

四半期報告書提出予定日 2020年8月14日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	2,689	△12.1	173	22.2	227	43.6	160	37.1
2020年3月期第1四半期	3,058	△0.4	141	△13.5	158	△13.6	117	△8.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	29.68	—
2020年3月期第1四半期	21.64	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	21,957	18,367	83.7
2020年3月期	21,838	18,139	83.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 18,367百万円 2020年3月期 18,139百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
2021年3月期	—				
2021年3月期(予想)		7.50	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,962	△13.0	597	△8.5	642	△6.1	424	△3.8	78.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期1Q	5,749,000株	2020年3月期	5,749,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	333,987株	2020年3月期	333,987株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期1Q	5,415,013株	2020年3月期1Q	5,415,055株

(注) 2021年3月期第1四半期の期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託(BBT)に係る信託口が保有する当社株式36,000株を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、当社ウェブサイト同日掲載しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(2020年4月1日～2020年6月30日)におけるわが国経済は、世界規模での新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、経済・社会活動が停滞したことで国内経済は急速に悪化し、先行きは今まで経験したことのない不透明感が続いており、極めて厳しい状況となりました。

当社の主力事業領域である貨物自動車運送業界におきましても、経済活動停滞の影響は大きく、輸送量、営業収入は大幅に悪化しており、今後につきましては、燃料コスト負担の軽減が予想されるものの、新型コロナウイルス感染拡大の収束時期が見通せない状況下で、物流事業に対するマイナス影響の長期化が懸念されております。

このような状況の下、当社は従業員およびその家族の安全確保を最優先事項と位置づけ、感染防止対策を講じるとともに、事業への影響を最小限に抑えるべく必要な対応を行ってまいりました。

営業面においては、前期に引き続き、3PL事業(物流の一括受注)を積極的に推進するとともに収益基盤の改革に努め、収益性の向上に取り組んでまいりました。

今後も東部滋賀物流センター(滋賀県)の2020年8月稼働を皮切りに、新規案件についてもスピード感をもって順次展開してまいります。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は2,689,224千円(前年同期比12.1%減)、営業利益173,204千円(前年同期比22.2%増)、経常利益227,315千円(前年同期比43.6%増)、四半期純利益160,695千円(前年同期比37.1%増)となりました。

セグメント別の業績につきましては、次のとおりであります。

#### (貨物自動車運送事業)

飲料輸送は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、政府による緊急事態宣言が発出され、外出自粛の要請による個人消費の急激な低下により、製造が減少したことで輸送数量も減少し、さらに、例年の大型連休の消費増に伴った輸送増も逸したことも重なり、大幅な減収となりました。セメント輸送は、前期並みに推移いたしましたが、受注量は伸びず減収となりました。

以上から、当事業の売上高は、関連業務の荷役・保管作業収入を含め、1,790,528千円(前年同期比18.5%減)となり、セグメント利益は、減収予測をもとに、設備投資を中止したことによる減価償却費の減少や、燃料費の低下等により運送原価が減少したことから、115,980千円(前年同期比138.4%増)となりました。

#### (商品販売事業)

石油販売は、引き続き収益性に重点を置いた取引を継続しておりますので減収となりました。セメント販売につきましては、需要増に対応した販売量が増加し、大幅な増収となりました。

この結果、当事業の売上高は、546,855千円(前年同期比10.0%増)となり、セグメント利益は6,382千円(前年同期比35.4%増)となりました。

#### (不動産賃貸事業)

自社施設のオフィスビルで、一部が空室となっており、減収となりました。借上施設の提供につきましては、大きな異動はなく前期並みでありました。

この結果、当事業の売上高は316,613千円(前年同期比2.3%減)となり、セグメント利益は146,610千円(前年同期比9.5%減)となりました。

#### (その他事業)

自動車整備事業は、一般修理の受注減が影響し減収となりました。

この結果、当事業の売上高は、35,227千円(前年同期比13.4%減)となり、セグメント利益は5,782千円(前年同期比19.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末の総資産額は、21,957,059千円となり、前事業年度末と比較し、118,992千円増加いたしました。これは主に営業未収入金54,642千円、有形固定資産78,423千円それぞれ減少した一方で、現金及び預金が109,923千円、投資有価証券が150,931千円それぞれ増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債総額は、3,589,824千円となり、前事業年度末と比較し、108,881千円減少いたしました。これは主に、未払金が92,470千円、未払法人税等が44,086千円及び引当金が47,542千円減少した一方で、未払費用が83,091千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は18,367,235千円となり、前事業年度末と比較し、227,873千円増加いたしました。これは主に、四半期純利益160,695千円及び剰余金の配当40,882千円により利益剰余金が119,813千円増加し、その他有価証券評価差額金104,974千円増加により評価・換算差額金等が108,060千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、2020年6月12日付「2021年3月期業績予想及び配当予想に関するお知らせ」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報や予測等に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想値と大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,022,886	4,132,810
受取手形	26,286	29,669
電子記録債権	29,576	18,415
営業未収入金	1,084,820	1,030,178
リース投資資産	16,562	13,140
原材料及び貯蔵品	22,822	20,893
その他	110,507	115,030
流動資産合計	5,313,463	5,360,138
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,611,592	2,592,272
車両運搬具(純額)	330,002	289,571
土地	8,344,656	8,344,656
リース資産(純額)	491,903	483,508
その他(純額)	2,218,903	2,208,625
有形固定資産合計	13,997,057	13,918,633
無形固定資産		
投資その他の資産	37,439	38,677
投資有価証券	1,078,587	1,229,518
差入保証金	1,224,261	1,224,283
その他	190,690	189,241
貸倒引当金	△3,433	△3,433
投資その他の資産合計	2,490,106	2,639,610
固定資産合計	16,524,603	16,596,920
資産合計	21,838,067	21,957,059

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	995	—
電子記録債務	54,797	48,020
営業未払金	686,801	663,821
リース債務	35,385	35,580
原油スワップ	48,134	13,756
未払金	114,669	22,198
未払費用	210,587	293,678
未払法人税等	107,781	63,694
引当金	79,583	32,041
その他	223,062	236,656
流動負債合計	1,561,798	1,409,449
固定負債		
リース債務	505,133	496,163
繰延税金負債	954,200	1,015,247
再評価に係る繰延税金負債	112,105	112,105
引当金	17,868	20,250
長期前受金	20,426	19,039
長期預り保証金	448,458	440,715
長期預り金	18,107	16,185
長期未払金	43,900	43,900
資産除去債務	16,706	16,765
固定負債合計	2,136,907	2,180,374
負債合計	3,698,705	3,589,824
純資産の部		
株主資本		
資本金	553,031	553,031
資本剰余金	536,556	536,556
利益剰余金	17,422,843	17,542,657
自己株式	△259,203	△259,203
株主資本合計	18,253,228	18,373,042
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	310,183	415,158
繰延ヘッジ損益	△6,171	△3,085
土地再評価差額金	△417,879	△417,879
評価・換算差額等合計	△113,867	△5,807
純資産合計	18,139,361	18,367,235
負債純資産合計	21,838,067	21,957,059

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	3,058,218	2,689,224
売上原価	2,817,109	2,395,942
売上総利益	241,108	293,281
割賦販売未実現利益戻入額	428	308
割賦販売未実現利益繰入額	373	269
繰延リース利益戻入額	1,089	252
繰延リース利益繰入額	836	154
差引売上総利益	241,418	293,419
販売費及び一般管理費	99,672	120,215
営業利益	141,746	173,204
営業外収益		
受取利息	39	35
受取配当金	19,363	19,991
デリバティブ評価益	—	33,035
その他	6,416	4,607
営業外収益合計	25,819	57,670
営業外費用		
支払利息	3,922	3,559
有価証券評価損	5,191	—
その他	135	—
営業外費用合計	9,249	3,559
経常利益	158,315	227,315
特別利益		
固定資産売却益	17,978	8,008
特別利益合計	17,978	8,008
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税引前四半期純利益	176,294	235,324
法人税、住民税及び事業税	40,877	60,579
法人税等調整額	18,208	14,048
法人税等合計	59,086	74,628
四半期純利益	117,208	160,695



### (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(株式報酬制度)

当社は、2019年6月26日開催の第106回定時株主総会の決議に基づき、中長期的な企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的として、取締役(社外取締役を除く。)を対象とする株式報酬制度「株式給付信託(BBT)」(以下「本制度」という。)を導入しております。

本制度に係る会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 平成27年3月26日)に準じて、総額法を適用しております。

#### ① 取引の概要

当社は取締役に対し、役員株式給付規程に基づき定まるポイントを付与し、役員退任時等に累計ポイントに応じた当社株式及び金銭を給付します。役員に対し給付する株式については、予め信託設定した金銭により将来分も含め取得し、信託財産として分別管理しております。

#### ② 信託に残存する自社の株式

当社は、本信託に残存する当社株式を、本信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当第1四半期会計期間末における当該自己株式の帳簿価額は35,820千円、株式数は36,000株であります。

(新型コロナウイルス感染症の影響)

新型コロナウイルス感染症の影響については、今後の広がり方や収束時期等を正確に予測することは困難な状況にありますが、外部の情報源に基づく情報等を踏まえ、2020年中には当該状況が正常化していくなどの仮定を置き、繰延税金資産の回収可能性及び固定資産の減損会計等の会計上の見積りを行っております。また、当該会計上の見積りの仮定については、前事業年度から重要な変更はありません。

なお、見積りに用いた仮定は不確実性が高く、新型コロナウイルス感染症の収束時期および経済環境への影響が変化した場合には、当事業年度における当社の財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)2	四半期 損益計算書 計上額 (注)3
	貨物自動車 運送事業	商品販売 事業	不動産賃貸 事業	その他事業 (注)1	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,196,553	496,978	323,996	40,689	3,058,218	—	3,058,218
計	2,196,553	496,978	323,996	40,689	3,058,218	—	3,058,218
セグメント利益	48,655	4,713	162,034	7,180	222,584	△80,838	141,746

(注) 1. 「その他事業」は、自動車整備業、派遣業及び損保代理業等であります。

2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書計上額(営業利益)と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)2	四半期 損益計算書 計上額 (注)3
	貨物自動車 運送事業	商品販売 事業	不動産賃貸 事業	その他事業 (注)1	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,790,528	546,855	316,613	35,227	2,689,224	—	2,689,224
計	1,790,528	546,855	316,613	35,227	2,689,224	—	2,689,224
セグメント利益	115,980	6,382	146,610	5,782	274,756	△101,551	173,204

(注) 1. 「その他事業」は、自動車整備業、派遣業及び損保代理業等であります。

2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書計上額(営業利益)と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。